



市内中心部にオープン予定の『ティオ築町』

ありあけじゆく
株式会社有明塾 株式会社希春
～きばる～

このまちで“気張る！”
人材育成を通じ社会貢献



倉岡清児代表

同社を立ち上げた倉岡清児氏は地元
の学習塾「有明塾」の代表取締役も務
め、数多くの塾生を教えるてきまし
た。一流の大学、企業に進んでも人間関
係やパワハラなどに悩み、退学や退職を
余儀なくされ、引きこもるといふケース
が全国的に見られることが気になって
いたそうです。利用者には働いて社会

働く喜びを再び味わって
もらいたい

少子高齢化と労働人口の減少がもの
すごい勢いで進行する日本。大牟田も
同様です。一方で、職場の雰囲気と合わ
なかつたり、パワハラメントに遭遇
したりして心身の限界に達し退職を余
儀なくされ、引きこもってしまう人も
多いといわれています。再就職を望ん
でも「大丈夫だろうか」という不安感に
さいなまれ、つい二の足を踏んでしま
う。そんな人たちの社会復帰を手伝
う。そんな人たちの社会復帰を手伝
う。そんな人たちの社会復帰を手伝
う。そんな人たちの社会復帰を手伝

参加するとう喜びを再び味わっても
らいたい。地元企業が陥っている人手不
足の解消にも役立ち、地域に貢献した
いと考へ、昨年12月に同事業所をオ
ープンさせました。

パソコンの個別ブースを備えた真新
しい同事業所。通う人はメンタルクリ
ニックなどの医師による診断書や各種
障害者手帳を持ち、働くことを望んで
います。今年2月には早くも定員の20
人が埋まり、高いニーズがうかがえます。
利用者の年齢は10歳代から60歳代まで
と幅広く、高度なパソコンスキルや有名
企業で働いた経験を持つ人もいるそう
です。「高い能力を持ちながらも、対人
関係が苦手という人もいます。採用する
側がその人の個性として周囲が受け入
れば人材の確保につながるのではな
いか」と倉岡氏。

具体的なプログラムは利用者の個性
に合わせて組まれます。が、いずれも
最初に始まるのが生活習慣を直すこと。
引きこもっていた人に多く見られがち
な昼夜逆転の生活を規則正しく事業所
まで通い、ウォーキングや農業体験、ヨ
ガに参加し体を動かすことで本来のリ
ズムに戻します。次の段階は人とスマ
ーズに交わり、仕事を円滑に進める
上で大切なコミュニケーション能力
に関するもの。例えばイベントを開
催するとしたら、立案、参加者の募
集、りん議書の作成まで携わり、人
と関わる能力を高め自信を深めてい
くそうです。もちろん実務に役立つ
パソコンや書類作成などのプログラ
ムは充実していますし、簿記やビジ

ネスソフトの資格を取得することがで
きます。開所してまだ4カ月ですが、さ
まざまな検定試験などに合格した人
就職内定を得た人と具体的な成果が出
始めました。四月には市内中心部に同
じコンセプトの「ティオ築町」（指定申
請中）が開所する予定だそうです。

地域に密着し続けた40年
そしてこれからも…

さて地域に密着した貢献という理念
は開塾40周年という節目を迎えた「有
明塾」にも共通するところ。大牟田市
野添町に始まり、今では新栄町駅前
田隈、荒尾中央校と3校を運営。小・
中・高・大学受験に対応し、親子孫の
三世代で通っているケースもあるそう
です。講師を採用するにあたっては地元
出身者にこだわっています。「塾生にとっ
て同じ中学校、目指す高校を卒業した
講師には親近感が沸く。地元の事情に
通じているからこそできる指導が強み」
だそうです。もちろん大手予備校や通
信教育と提携し大学受験に欠かせない
全国レベルの競争を提供することにも余
念ありません。

多様な学び方ができる場を提供しよ
うと通信制の精華学園高校大牟田校も
設けた倉岡氏。敬愛する元プロ野球監
督、野村克也氏が著書に引いた後藤新平
の「財を残すは下、業を残すは中、人を
残すは上」という言葉を大切にしていま
す。人を育て、地域を盛り上げるとい
う思いはこれからも変わりません。

（取材：江頭裕一）



パソコンブースが
備えられた
ティオ新大牟田

DATA	沿革	設立年月日 1976年3月
	事業内容	学習塾、通信制高校の運営 本社/大牟田市東新町1-3-9
	所在地	代表電話番号 0944-54-0633